



平成24年4月1日、足羽ワークセンターの第3事業所として、新しい事業所がオープンしました。「一人ひとりの個性が、それぞれの色で輝いて欲しい」という思いから『パステル』と名付けられ、現在数名の発達障がいをもった方を対象に支援をしています。作業支援だけではなく、人とのかわり方や日常生活に必要な活動などを通して、その人らしく生活ができるように共に取り組んでいます。

**皆さん  
ご存じですか？**

一般的に発達障がい幅広く認知されるようになったのは、平成16年の『発達障害者支援法』制定以降であり、それまでは知らない方も多くいました。この障がいをもつ方の特性上、なかなか周囲と馴染めず、利用

者のAさんは「最初、コンビニエンスストアでアルバイトをしてみたけれども、人間関係がうまくいかず、職場の雰囲気慣れることができなくて、すぐに辞めてしまった。そのあとの仕事も長続きしなかった」と相談がありました。

また、別の利用者者のBさんは「仕事を依頼されても、内容が理解できない。そのまま自分で勝手に進めたら、注意をうけた」と話して下さいました。このように、対外的なコミュニケーションが不得意である、また人との接し方がわからず不安になったりパニックになったりしてしまうことも、発達障がいをもっている方の悩みのひとつとして挙げられます。

**それぞれの障害特性**

知的な遅れを伴うこともあります

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動・こだわり

**【自閉症】**  
例：急な予定変更や初めての場所が不安。不安なときに周囲の促しがあると突発的に大声を出すこともある。

**広汎性発達障害**

**【アスペルガー症候群】**  
例：他の人が話しているのに自分のことばかり話してしまう。自分の得意分野に関しては豊富な知識を有する。

- 基本的に言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係・社会性の障害
- パターン化した行動・興味・関心のかたより
- 不器用(言語発達に比べて)

**注意欠陥多動性障害(AD/HD)**

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしてられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

例：大切な仕事の予定を忘れて、大切な書類を置き忘れてしまう。何回言われても忘れてしまう。

**学習障害(LD)**

- 「読む」「書く」「計算する」などの能力が全体的な知的発達に比べて極端に苦手

例：メモを取ろうとしても、本当は書くことが苦手なのに、集中しようと気を取られてしまい、逆に内容が分からなくなる。

現在、福井県内に発達障がいの方が相談できる場所は数少なく、地域によっては皆無のところもあります。相談をしても、利用者の方の受け皿がないのは深刻な状況でした。そんな中『パステル』が県内最初の支援事業所として開所という記事

が地元紙の紙面トップに取り上げられました。私たちスタッフもまだまだ手探り状況の中ではありますが、プログラムを試みましたが、一人ひとりの個性や特性にあった支援をするように活動を始めました。

※実際には障害の種類を明確に分けて診断することは難しく、症状や診断時期により診断名が異なる場合もあります。

上記の図は厚生労働省の政策レポート(発達障害の理解のために)を引用し例を挙げて掲載しています

## 一人ひとりに合った方法で支援を

当事業所に通う方は、月々金曜日（土曜の活動日もあり）の9時から16時まで通所時間の間で、午前中は作業を中心に、午後からは社会的なスキルアップのための個別支援プログラムを中心に活動しています。発達障がいの特徴を知らない方から見ると、あいさつの仕方や人との話し方、仕事の進め方などは『知っている当たり前』なことかもしれないかもしれません。しかし、適切なサポートがないと、社会の中で自分を上手に表現できないことも多々あります。

苦手な分野を克服しようとする利用者の皆さんと共に過ごす私たちにできること、それは…

**① 苦手なことをスタッフの支援で補い、できた部分を褒めること**

**② 安心して取り組める環境を作ること**

**③ その人の人間性を尊重して、優しく見守り続けること**

だと考えています。

まだまだ開所間もない事業所で、利用者の方一人ひとりにあった支援は手探り状態ですが、障がいをその人の個性として捉え『パステル』という名前にふさわしい事業所でありたいと考えています。

## パステル利用者の方 ある日の1日

事業所での作業の様子や、スキルアップのための活動の様子を紹介します。



出勤したら、タイムカードを押して、鏡で身だしなみをチェックします。



午前中は、作業を中心にすすめています。



相談は随時、個別に時間を取りながら、ていねいに聴き取ります。



1日を通して作業をするとどうしても疲れてしまいます。午後はスキルアップのための支援を中心に活動します。  
(左: あいさつの練習、中央: 調理訓練を通してコミュニケーション能力のアップ: 右: 文房具の使い方の練習)



## みんなの広場

3月の終わりに「ケアホームさつき」で生活している14名の方が夕食外出に出かけました。向かった先は食べ放題！…若干年齢層が高めだったせいか、最初に食べ過ぎてしまい、早くにギブアップしてしまいました。トホホ。



ちょっとお酒をたしなみながら

食べ過ぎて、お腹一杯！

